



さらに進化する

充実の箱粒剤

効果 省力 コスト

農林水産省登録
第21017号

殺虫剤分類	2B
殺菌剤分類	7, P2



いもち病、紋枯病、
害虫を同時に防除
なが〜く

緑化期から
処理できます



ビルダー®は北興化学工業(株)の登録商標 プリンズ®はBASF社の登録商標 グレータム®は日産化学工業(株)の登録商標



葉いもち

穂いもち

紋枯病

ニカメイチュウ

コブノメイガ

ウンカ

育苗箱でいもち病・紋枯病・害虫を同時に防除。

包装：1kg袋入り 成分：フィプロニル(PRTR・1種)…1.0% チフルザミド…3.0% プロベナゾール…10.0% 人畜毒性：普通物※



※毒劇物に該当しないものを指している通称

■特長

1) 育苗箱処理で水稻の主要病害虫の同時防除が可能

育苗箱処理で水稻の主要病害虫であるいもち病、紋枯病、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ニカメイチュウ、コブノメイガ、ウンカ類、イネツトムシを同時に防除できます。

2) 高い省力性

1回の育苗箱処理で、主要病害虫に対して長期間にわたって高い効果を示しますので、省力的、経済的です。

3) ユニークな作用性

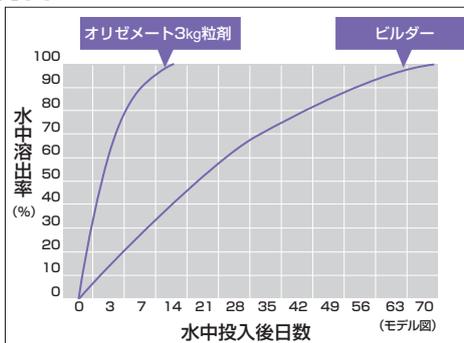
いもち病防除剤「ビルダー」は植物の病害抵抗性を誘導して高い防除効果を発揮するPDA*(植物防御機構活性化剤)で各種薬剤耐性菌にも有効です。「グレータム」は紋枯病菌の各生育ステージに作用しますが、特に菌核形成阻止力に優れます。「プリンス」は、これまでのどのグループにも属さない、まったく新しい基本骨格をもつ殺虫剤で、鱗翅目害虫のコブノメイガ・ニカメイチュウ、半翅目害虫のウンカ類など主要な水稻害虫に対し低薬量で優れた効果を発揮します。 *PDA: Plant Defense Activator

■ビルダープリンスグレータムの適用病害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フィプロニルを含む農薬の総使用回数	チフルザミドを含む農薬の総使用回数	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病、紋枯病 ウンカ類、コブノメイガ ニカメイチュウ イネツトムシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌 約5ℓ) 1箱当り 50g	緑化期 ↓ 移植当日	1回	育苗箱の苗の 上から均一に 散布する	1回	3回以内 (育苗箱散布は 1回以内、本田で は2回以内)	2回以内 (移植時までの 処理は1回以内)
	白葉枯病、もみ枯細菌病 内籾褐変病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) イネドロオイムシ イネミズゾウムシ イネヒメハモグリバエ イネクロカメムシ イネアザミウマ							
	いもち病、紋枯病 白葉枯病、もみ枯細菌病 内籾褐変病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) ウンカ類、イネツトムシ イネドロオイムシ イネミズゾウムシ イネヒメハモグリバエ イネクロカメムシ イネアザミウマ コブノメイガ ニカメイチュウ	高密度には種する 場合は1kg/10a (育苗箱(30×60× 3cm、使用土壌 約5ℓ) 1箱当り 50~100g)	移植3日前 ↓ 移植当日					

■有効成分の溶出制御メカニズム

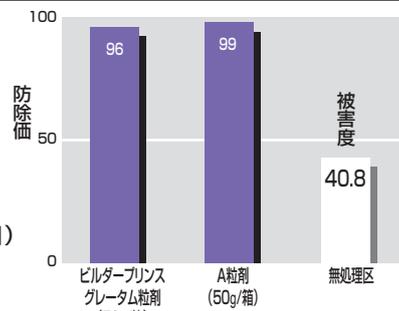
ビルダー(プロベナゾール10%)はオリゼメート3kg粒剤に比べ、溶出スピードを1/8に抑え、移植から活着までの水稻に対する安全性を確保すると同時に、長期残効が期待できる溶出性を示します。



■試験成績 (紋枯病)

鳥取県農業試験場 (平成13年)

- 品種：コシヒカリ
- 移植：5月24日
- 出穂：8月5日
- 発生状況：多発生 (接種)
- 処理月日：5月24日 (移植当日) 50g/箱
- 調査月日：9月9日



ビルダープリンスグレータム粒剤の上手な使い方

1. 育苗箱当り50~100gを均一に

育苗箱の苗の上から均一になるように散粒して下さい。



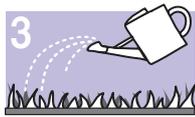
2. 軽く払って

薬剤散粒後、軽く苗の上半分を払い、葉にひっかかっている薬剤を培土の上に落としてください。



3. 十分に水やり

最後に上から十分に灌水し、薬剤を培土の上に落ち着かせて下さい。



安全使用上の注意

- フィプロニルによる中毒に対しては、動物実験でフェニルピタール製剤の投与が有効であると報告されています。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、不透水性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用して下さい。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けて下さい。
- 夏期高温時の使用を避けて下さい。
- 火災時は、適切な保護具を着用し、水・消火剤等で消火に努めて下さい。
- 漏出時は、保護具を着用し掃き取り、回収して下さい。
- 移送取扱いはていねいに行ってください。
- 魚毒性等…水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないで下さい。水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意して下さい。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないで下さい。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。
- 保管…直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

- 使用前にラベルをよく読んで下さい。
- ラベルの記載以外には使用しないで下さい。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。
- 使用後の空袋は圃場や水路などに放置せず、適切に処理して下さい。
- 防除日誌をつけましょう。

お問い合わせ/ご注文は